

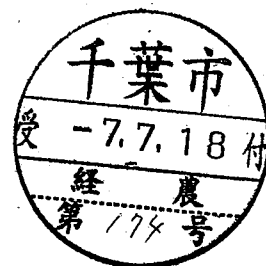
令和7年7月18日

千葉市長 神谷 俊一 様

千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会
会長 鈴木 雅之

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

令和7年5月9日付け7千経経第22号で、千葉市長から諮問のありました標記の件について、別紙の農政部会からの報告のとおり答申します。



令和7年7月18日

千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会

会長 鈴木雅之 様

千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会

農政部会

部会長

鈴木雅之

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

令和7年5月9日付け7千経経第22号で、千葉市長から諮問のありました標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり議決したので報告します。

記

1 公の施設の指定管理者の評価について

(1) 中田やつ耕園（千葉市中田都市農業交流センター）（議決日 令和7年7月18日）

ア 年度評価

- ・施設運營業務・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・利用者へのアンケート結果では従業員の対応が高く評価されている一方、前年度と比較して市民農園の契約区画数が減少していることから、コロナ禍で活性化したニーズを再び引き寄せられるよう、新たに開設した Facebook を活用する他、学校等への PR 活動も検討していただきたい。
- ・自主事業については、市民を対象とした収穫体験が好評を維持しており、農業体験を通して都市部と農村部の交流に寄与していると評価できる。こうした収穫体験の参加者を市民農園の利用者増につなげるような取組みの強化を期待する。
- ・数値目標が達成されていない項目については、要因分析を行うこと。例えば、広報の効果測定を的確に行うため、利用者アンケートの「参加のきっかけ」についての項目を細分化されたい。
- ・このほか、水はけが悪い区画については、昨年度に実施した土壌改良により供用が開始できた区画があったことは評価できる。引き続き、不良区画の改善状況を見極めた上で、必要な対策を実施していただきたい。

(2) 富田さとにわ耕園（千葉市富田都市農業交流センター）（議決日 令和7年7月18日）

ア 年度評価

- ・施設運營業務・施設維持管理業務については、異常気象による植栽の除草対応等への負担が大きかったにもかかわらず、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・特に、植栽維持管理業務については、年間を通じて花を楽しめ、快適に回遊できる場となるよう、季節の花々の管理や環境整備を適切に行っており評価できる。一方、例年の

集客期における来場者数の減少により、年間来場者数が目標を下回ったが、4月の土日が少なかったことや雨天が多かったことが主要因だと考えられる。また、異常気象による植栽の除草対応等の維持管理に苦慮したことも一要因であると考えられることから、今後も植栽の状況に応じ適切に維持管理できるよう対応していただきたい。

- ・研修室の稼働率は、昨年度と比較して減少しており、目標達成に至っていないことから、利用実績のある団体等への利用機会増に向けた呼びかけのほか、各種イベントやワークショップ等での利用に繋がるよう、新たに開設したホームページやインスタグラムを含めあらゆる機会を捉えて積極的にPR活動を行っていただきたい。

(3) 下田農業ふれあい館(千葉市下田都市農業交流センター)(議決日 令和7年7月18日)

ア 年度評価

- ・施設運營業務・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・自主事業については、事業の見直しを実施したことにより昨年度と比較し赤字幅が縮小したが、引き続き収支の黒字化に向けて赤字の原因を分析し、財務基盤の強化を図りたい。
- ・直売所については、前年度と比較し利用者数・売上ともに増加しており、SNSによる情報発信や新たな商品開発などの営業努力によるものと評価できる。今後も、店頭の商品揃えの充実等により魅力ある直売所づくりに努めることはもとより、店外販売先の更なる新規開拓や店内イベントの開催等による施設の有効活用、店外イベントへの積極的な参加、地域を巻き込んで季節のイベントを開催するなど、様々な手段で利用者・売上の増加に向け取り組まれない。

(4) 千葉市ふるさと農園(議決日 令和7年7月18日)

ア 年度評価

- ・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・利用者数は、概ね数値目標を達成するとともに、農林業体験教室の参加者数及び農林業体験教室における「農林業に対する理解度が向上したと回答した割合」は数値目標を達成しており、指定管理者の幅広い業務に基づくノウハウが発揮され、結果の達成に至ったと高く評価できる。
- ・ただし、自主事業については、指定管理者の責任で実施する事業ではあるが、今後の事業展開に向けた初期投資であることは理解できつつも、収支比率が低いいため、自主事業の赤字によって安定的な管理運営が揺らぐことのないようにされたい。
- ・財務基盤の安定化を図り、指定管理業務を着実に遂行されたい。